

2017（平成29）年度

計 算 書 類

大阪市西区土佐堀1丁目5番6号

学校法人大阪YMCA

第1号様式(第12条関係)

資金収支計算書

2017年 4月 1日から

2018年 3月31日まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒納付金収入	1,217,380,000	1,276,593,620	△ 59,213,620
手数料収入	12,320,000	15,208,262	△ 2,888,262
寄付金収入	320,000	1,004,500	△ 684,500
補助金収入	150,400,000	142,134,313	8,265,687
付随事業収入	550,350,000	574,190,336	△ 23,840,336
受取利息収入	0	802,367	△ 802,367
雑収入	89,410,000	74,394,725	15,015,275
前受金収入	380,000,000	419,578,358	△ 39,578,358
その他の収入	47,500,000	57,237,853	△ 9,737,853
資金収入調整勘定	△ 419,000,000	△ 434,572,748	15,572,748
前年度繰越支払資金	491,872,135	491,872,135	0
収入の部合計	2,520,552,135	2,618,443,721	△ 97,891,586

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,329,810,000	1,329,801,649	8,351
教育研究経費支出	389,930,000	391,555,115	△ 1,625,115
管理経費支出	250,210,000	257,956,636	△ 7,746,636
借入金等返済支出	30,250,000	30,612,855	△ 362,855
施設関係支出	0	81,457,175	△ 81,457,175
設備関係支出	8,000,000	7,195,824	804,176
その他の支出	133,000,000	169,027,775	△ 36,027,775
資金支出調整勘定	△ 117,000,000	△ 148,797,358	31,797,358
次年度繰越支払資金	496,352,135	499,634,050	△ 3,281,915
支出の部合計	2,520,552,135	2,618,443,721	△ 97,891,586

事業活動収支計算書

2017年4月1日から
2018年3月31日まで

(単位 円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	1,217,380,000	1,276,593,620	△ 59,213,620
		手数料	12,320,000	15,208,262	△ 2,888,262
		寄付金	320,000	424,500	△ 104,500
		補助金	150,400,000	142,134,313	8,265,687
		付随事業収入	550,350,000	574,190,336	△ 23,840,336
		雑収入	89,410,000	74,394,725	15,015,275
		教育活動収入計(1)	2,020,180,000	2,082,945,756	△ 62,765,756
	支出	人件費	1,329,810,000	1,310,047,373	19,762,627
		教育研究経費	487,770,000	488,228,052	△ 458,052
		管理経費	257,570,000	270,566,145	△ 15,241,095
		徴収不能額等	0	1,122,475	△ 1,122,475
教育活動支出計(2)		2,075,150,000	2,069,964,045	5,185,955	
		教育活動収支差額(3)=(1)-(2)	△ 54,970,000	12,981,711	△ 67,951,711
教育活動外収支	収入	受取利息	0	802,367	△ 802,367
		教育活動外収入計(4)	0	802,367	△ 802,367
	支出	借入金等利息	900,000	1,270,855	△ 370,855
		教育活動外支出計(5)	900,000	1,270,855	△ 370,855
		教育活動外収支差額(6)=(4)-(5)	△ 900,000	△ 468,488	△ 431,512
		経常収支差額(7)=(3)+(6)	△ 55,870,000	12,513,223	△ 68,383,223
特別収支	収入	その他の特別収入	0	580,000	△ 580,000
		特別収入計(8)	0	580,000	△ 580,000
	支出	その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計(9)	0	0	0
		特別収支差額(10)=(8)-(9)	0	580,000	△ 580,000
		予備費(11)	0		0
		基本金組入前当年度収支差額(12)=(7)+(9)-(11)	△ 55,870,000	13,093,223	△ 68,963,223
		基本金組入額合計(13)	0	△ 9,350,000	9,350,000
		当年度収支差額(14)=(12)+(13)	△ 55,870,000	3,743,223	△ 59,613,223
		前年度繰越収支差額	△ 3,634,695,812	△ 3,634,695,812	0
		翌年度繰越収支差額	△ 3,604,180,831	△ 3,630,952,589	26,771,758

貸借対照表

2018年3月31日

(単位：円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	3,843,147,693	3,873,777,140	△ 30,629,447
(有形固定資産)	(3,541,622,497)	(3,560,307,314)	△ 18,684,817
(その他の固定資産)	(301,525,196)	(313,469,826)	△ 11,944,630
流動資産	604,943,355	557,219,638	47,723,717
資産の部合計	4,448,091,048	4,430,996,778	17,094,270
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	425,742,288	448,486,564	△ 22,744,276
流動負債	601,826,103	575,080,780	26,745,323
負債の部合計	1,027,568,391	1,023,567,344	4,001,047
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	7,051,475,246	7,042,125,246	9,350,000
第1号基本金	7,051,475,246	7,042,125,246	9,350,000
繰越収支差額	△ 3,630,952,589	△ 3,634,695,812	3,743,223
翌年度繰越収支差額	△ 3,630,952,589	△ 3,634,695,812	3,743,223
純資産の部合計	3,420,522,657	3,407,429,434	13,093,223
負債及び純資産の部合計	4,448,091,048	4,430,996,778	17,094,270

資金収支内訳表

2017年4月1日から
2018年3月31日まで

収入の部

学校法人 大阪YMCA

(単位 円)

科目	部門	学校法人	大阪YMCA インターナショナルスクール	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高校	大阪YMCA 国際専門学校			総額
						専門課程	高等課程	計	
学生生徒等納付金収入		0	303,581,476	271,500,036	245,761,532	331,705,780	124,044,796	455,750,576	1,276,593,620
手数料収入		0	2,082,000	5,552,440	2,554,111	2,961,200	2,058,511	5,019,711	15,208,262
寄付金収入		0	580,000	0	70,000	10,500	344,000	354,500	1,004,500
補助金収入		0	10,241,000	0	52,369,799	700,680	78,822,834	79,523,514	142,134,313
付随事業収入		13,838,347	26,336,907	199,792,593	0	285,985,613	48,236,876	334,222,489	574,190,336
受取利息収入		802,367	0	0	0	0	0	0	802,367
雑収入		141,564	2,253	5,091,640	214,242	68,688,073	256,953	68,945,026	74,394,725
計		14,782,278	342,823,636	481,936,709	300,969,684	690,051,846	253,763,970	943,815,816	2,084,328,123

支出の部

(単位 円)

科目	部門	学校法人	大阪YMCA インターナショナルスクール	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高校	大阪YMCA 国際専門学校			総額
						専門課程	高等課程	計	
人件費支出		74,092,501	223,577,373	297,888,170	176,526,590	403,101,139	154,615,876	557,717,015	1,329,801,649
教育研究経費支出		0	72,461,815	76,319,920	74,858,072	132,351,561	35,563,747	167,915,308	391,555,115
管理経費支出		74,789,299	15,839,973	24,392,966	22,629,418	103,347,633	16,957,347	120,304,980	257,956,636
借入金等返済支出		20,488,087	0	0	0	7,252,448	2,872,320	10,124,768	30,612,855
施設関係支出		443,750	2,435,065	12,958,900	0	65,619,460	0	65,619,460	81,457,175
設備関係支出		1,021,464	0	1,198,800	0	4,975,560	0	4,975,560	7,195,824
計		170,835,101	314,314,226	412,758,756	274,014,080	716,647,801	210,009,290	926,657,091	2,098,579,254

事業活動収支内訳表

2017年4月1日から
2018年3月31日まで

(単位 円)

部門	学校法人	大阪YMCA	大阪	YMCA学院	大阪YMCA	総額	
		インターナショナルスクール	YMCA学院	高校	国際専門学校		
教育活動収支	科目						
	学生生徒等納付金	0	303,581,476	271,500,036	245,761,532	455,750,576	1,276,593,620
	手数料	0	2,082,000	5,552,440	2,554,111	5,019,711	15,208,262
	寄付金	0	0	0	70,000	354,500	424,500
	経常費等補助金	0	10,241,000	0	52,369,799	79,523,514	142,134,313
	付随事業収入	13,838,347	26,336,907	199,792,593	0	334,222,489	574,190,336
	雑収入	141,564	2,253	5,091,640	214,242	68,945,026	74,394,725
	教育活動収入計	13,979,911	342,243,636	481,936,709	300,969,684	943,815,816	2,082,945,756
	人件費	39,060,577	225,618,933	300,831,300	182,610,030	561,926,533	1,310,047,373
	教育研究経費	0	79,142,895	101,516,630	84,239,582	223,328,945	488,228,052
	管理経費	75,612,898	16,582,293	27,192,656	23,671,808	127,506,490	270,566,145
	徴収不能額等	0	0	0	824,675	297,800	1,122,475
	教育活動支出計	114,673,475	321,344,121	429,540,586	291,346,095	913,059,768	2,069,964,045
教育活動収支差額	△ 100,693,564	20,899,515	52,396,123	9,623,589	30,756,048	12,981,711	
教育活動外収支	収入						
	受取利息	802,367	0	0	0	0	802,367
	教育活動外収入計	802,367	0	0	0	0	802,367
	支出						
借入金等利息	496,087	0	0	0	774,768	1,270,855	
教育活動外支出計	496,087	0	0	0	774,768	1,270,855	
教育活動外収支差額	306,280	0	0	0	△ 774,768	△ 468,488	
経常収支差額	△ 100,387,284	20,899,515	52,396,123	9,623,589	29,981,280	12,513,223	
特別収支	収入						
	その他の特別収入	0	580,000	0	0	0	580,000
	特別収入計	0	580,000	0	0	0	580,000
	支出						
	その他の特別支出	0	0	0	0	0	0
特別支出計	0	0	0	0	0	0	
特別収支差額	0	580,000	0	0	0	580,000	
基本金組入前当年度収支差額	△ 100,387,284	21,479,515	52,396,123	9,623,589	29,981,280	13,093,223	
基本金組入額合計	0	0	0	0	△ 9,350,000	△ 9,350,000	
当年度収支差額	△ 100,387,284	21,479,515	52,396,123	9,623,589	20,631,280	3,743,223	

学校法人 大阪YMCA

財 産 目 録

(2018年3月31日現在)

(単位 円)

I 資産総額		4,448,091,048
	内 1 基本財産	3,291,353,967
	2 運用財産	1,156,737,081
II 負債総額		1,027,568,391
III 正味財産		3,420,522,657
[1]資産		
1 基本財産		
(1) 土地		
計		1,088,072,424
(2) 建物		
計		2,194,844,060
(3) 構築物		
計		1,518,703
(4) 図書		
計		2,358,071
(5) 教具・校具及び備品		
計		31
(6) 電話加入権		
計		4,560,678
2 運用財産		
(1) 預金・現金		
ア 預金		
計		496,295,212
イ 現金		
計		3,338,838
(2) 不動産		
ア 土地		
計		2,000,000
イ 建物		
計		240,132,952
(3) 教具・校具及び備品		
計		12,696,256
(4) ソフトウェア		
計		5,142,799
(5) 敷金等		
計		1,189,640
(6) 未収入金		
計		55,127,788
(8) 前払金		
計		50,181,517
(9) 貸付金		
計		290,612,079
(10) その他		
計		20,000
[2] 負債		
1 固定負債		
(イ) 長期借入金		77,798,000
(ロ) 退職給与引当金		321,317,288
(ハ) 預り敷金		275,000
(ニ) 長期未払金		26,352,000
計		425,742,288
2 流動負債		
(イ) 短期借入金		29,342,000
(ロ) 前受金		419,578,358
(ハ) 未払金		104,787,371
(ニ) 預り金		48,118,374
計		601,826,103

平成29年度 事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

学校法人 大阪YMCA

学校法人大阪YMCA 平成29年度 事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

I 法人の概要

1 設置する学校・学部・学科等

- (1) YMCA学院高等学校
通信制課程（単位制） 総合学科
- (2) 大阪YMCA学院 総合日本語学科、実用日本語学科
- (3) 大阪YMCA国際専門学校
外国語専門課程 英米語学科、英米語専攻科
日本語学科2年コース、日本語学科1.5年コース
進学日本語学科
ビジネス専門課程 国際ホテル学科、国際ビジネス学科
国際高等課程 国際学科、表現・コミュニケーション学科
教育福祉専門課程 スポーツ&ウエルフェア学科、社会体育専攻科
- (4) 大阪YMCAインターナショナルスクール
幼稚部、初等部、中等部

2 学部・学科等の入学定員、学生数の状況

(1) YMCA学院高等学校

課程	学科	学則定員
通信制課程（単位制）	総合学科	1,750

(2) 大阪YMCA学院

学科	学則定員
総合日本語学科（1年コース）	40
総合日本語学科（1年半コース）	40
総合日本語学科（2年コース）	40
実用日本語学科（2年午前コース）	130
実用日本語学科（2年午後コース）	130
合計	380

(3) 大阪YMCA国際専門学校

課程名	学科名	学則定員
ビジネス専門課程	国際ホテル学科	80
	国際ビジネス学科	80
国際高等課程	国際学科	90
	表現・コミュニケーション学科	90
外国語専門課程	英米語学科	40
	英米語専攻科	25
	日本語学科2年コース	140
	日本語学科1.5年コース	100
	進学日本語学科	60
教育社会福祉 専門課程	スポーツ&ウェルフェア学科	80
	社会体育専攻科	20
小 計		805
ビジネス専門課程	国際ビジネス学科	200
小 計		200
合 計		1,005

(4) 大阪YMCAインターナショナルスクール

学科名	学則定員
幼稚園部	60
初等部	125
中等部	60
合 計	245

3 役員・教職員の人数（平成29年5月1日現在）

(1) 役員

理事 9人（うち、理事長1人、常勤理事4人）

監事 3人（うち、常勤監事0人）

(2) 教員

YMCA学院高等学校

	専 任			非常勤	任期制	合 計
	教員	助手	計	講 師	助 手	
通信制課程	12	0	12	110	0	122

大阪YMCA学院

	専 任			非常勤	任期制	合 計
	教員	助手	計	講 師	助 手	
文化教養	8	0	8	56	0	64

大阪YMCA国際専門学校

	専任			非常勤	任期制	合計
	教員	助手	計	講師	助手	
ビジネス専門課程	2	0	2	27	0	29
国際高等課程	13	1	14	46	1	61
外国語専門課程	17	6	23	58	8	89
教育社会福祉専門課程	1	1	2	17	0	19
合計	33	8	41	148	9	198

大阪YMCAインターナショナルスクール

	専任			非常勤	任期制	合計
	教員	助手	計	講師	助手	
文化教養	17	5	22	4	1	27

(2) 職員

区分	専任職員	兼務職員	合計
YMCA学院高等学校	9	2	11
大阪YMCA学院	9	0	9
大阪YMCA国際専門学校	19	12	31
大阪YMCAインターナショナルスクール	8	2	10
合計	39	9	48

II 事業の概要

1 事業の概況

時代に即した教育、時代と社会の変化を見通した教育を展開するため、学校法人大阪YMCAは大阪YMCAの他法人と連携して、長期的なVISION (VISION2020)を10年単位で策定しています。

大阪YMCA VISION2020の願いは、

- 1) ネットワーク型福祉社会を実現する(=人が繋がるあたたかな社会を作る)
 - 2) 未来に希望を持ちチェンジメーカーとなる青年を育む(=社会をよりよく変えていく)
- の2つです。

とりわけ学校法人は、時代が求める教育を探求するため、また現状の教育の課題に応えるため、学校の枠を超えた事業運営を進め、選択と集中を行うことで効率化を推進しました。また、グループ法人との連携を密にして、他法人を社会経験の場として利用しながら、学校法人の教育効果を高めています。

大阪YMCAの学校事業の目標は、1) Global Leadership Development 今後のグローバル社会の進展を鑑みて、その推進者となりえる青少年を育成する。2) Youth Development 不登校や

発達障害児童など、課題を抱えている青少年に対しての居場所として、彼らを受け止め、次のステージへと誘導していく。3) **Social Responsibility** 大阪YMCA他法人との対象療育別の連携を強化し、社会のニーズに対応したプログラム展開（子育て支援・シニア事業・多文化共生・放課後デイ・児童デイ・学童保育など）を推進する。以上の3分野を学校法人が力点を置いている分野として明確にすることにより、地域・保護者の理解を得ると同時に、教職員の働く上でのモチベーションの強化にもつながっています。

結果として、すべての事業において生徒数を確保してきており、特に留学生数に大きな伸びがあり、予算規模として大幅に伸長した1年でありました。また、平成29年3月末に行いました大阪YMCA学院とYMCA学院高等学校の校舎移転は両校にとって、それぞれの特色をより生かす良い影響を与えました。平成31年開設の公設民営の国際バカロレア校を大阪市より受託したことは上記の取組が認められた結果であり、今後の事業展開に大きな後押しとなると考えています。

2 主な事業の目的・計画および進捗状況

- (1) 多様化してきている高校生に対して、合理的な配慮を行いながら学校への定着を図り、卒業へと導いていく。また、学び直しのプログラムを積極的に実施し、学校への定着を図る。

YMCA学院高等学校は、移転を機に、「全日制は不安。でも毎日通いたい」という生徒や保護者の要望を聞き、週5日の通学型コースを開始いたしました。昨年度から開始しました「学びなおし」やグローバル・ウェルネス・アドバンスト・マイスペ+の4つのクラスも定着し、生徒の帰属意識が高まり、学校行事やボランティア活動などに参加する生徒が急増しました。生徒たちが安心して学校生活を送れるように、「約束」―「自分を大切にする。相手を大切にする。学びを諦めない」を設定、入試前に確認することにより、授業の雰囲気が変わってきました。

大阪YMCA国際専門学校高等課程国際学科は、学科改編後完成年度となり3学年がそろった年になりました。2年次は「国内・海外留学」の年と定め、海外留学にでる生徒も増えてきています。留学しない生徒は高校生では珍しいインターンシップ50時間を行い、多くの体験から深く学ぶ機会を提供しました。同一年度でデンマークに行き、またデンマーク生徒を受け入れる体験は大きく生徒を成長させる機会となっています。また、YMCAの世界的なネットワークを利用し、世界につながる学校として、昨年引き続き海外からインターンを受け入れ、六甲山YMCAグローバルラーニングセンターで12カ国100名のユースが参加したグローバルカンファレンスを実施し、海外のユースと英語を通して社会問題等のディスカッションを行いました。生徒の多くは実行委員としても活躍しました。

表現・コミュニケーション学科では、どうしても毎日通えなくなった生徒には、学院高等学校と表現・コミュニケーション学科の両校卒業ではなく、学院高等学校卒業だけに絞った個人の学習プランを策定し個別対応を行いました。公開授業を実施し、一条校の教員の人々に特色ある授業について賞賛の言葉をいただきました。サポートクラス（発達障がい児童を対象とした週1回の学習サポートおよびソーシャスキルトレーニングのクラス）や総合教育センターとの連携をさらに強め、ここの生徒への高いカウンセリング機能や指導体制を持ち、生徒が安心して学校生活を送ることのできる環境の整備をさらに進めました。不登校生をエンパワメントしている実績により、大阪市不登校通所事業サテライト平野の指定管理を受託しました。

(2) 留学生の留学目的も多様化してきており、その目的に対応できるように、学校のカリキュラムを変化させ、留学生の満足度をあげていく。

留学生を受け入れている大阪YMCA国際専門学校専門課程と大阪YMCA学院は、「留学生事業部」として一体的な運営を行っております。急増する留学生に対応するため、上町にありました大阪YMCA学院は天王寺に移転、新しく改装した校舎で快適に授業を受けることができました。2017年度は最大379名の学生を受け入れ、本校を志望する多くの学生を受け入れられるようハード面・ソフト面の体制整備に注力しました。

大阪YMCA国際専門学校日本語学科は、漢字圏学習者のための進学準備を行うコースとして、2015年に新たなコースデザインでスタートし完成年度を迎えました。中国語圏の学習者が多く、日本語を話さない、漢字で文章の意味を類推することに頼ってしまうなどの傾向に対して、日本語運用能力をより定着させるためのアプローチを授業や学校生活の中で組み込んでいくように取り組んでいます。

大阪YMCA国際専門学校語学・ビジネス専門課程では、入学式直後に1泊2日で新入生オリエンテーション合宿をスタートしました。職業人としての心構えや立ち居振る舞いを学ぶ時間を得た学生たちの姿勢は、前年度の学生に比べて学習生活にも積極性が見られ、良い変化が見られました。

また、日本語学習の後に本校の国際ホテル学科や国際ビジネス学科で職業教育を受け、その後日本での就職ができるというキャリアパスの提示を積極的に行った結果、内部進学生が増えました。また、全国のYMCAとの人事交流を行い、次世代を担う中堅層の教員を育てています。

(3) 外国籍の児童や複数の国籍を持っている児童・生徒に対する教育および受け入れ教育機関としての役割を果たす。

語学事業は教育の質をより向上させるために取り組んでいる指導体制の強化、カリキュラム整備、指導方法の再整備が効果を上げています。

インターナショナルスクールは、平成31年開設の公設民営の国際バカロレア校を大阪市より受託した影響もあり、生徒数が増加しています。今後、9年生から高校部までを設立し、IB/DP始動についての準備を大阪YMCA国際専門学校高等課程国際学科とともに始めました。

Ⅲ 財務の概要

平成29年度決算の概要

(1) 資金収支計算書

① 収入の部

どの事業一高校生事業、留学生事業、国際・語学事業（大阪YMCA国際専門学校、大阪YMCA学院、大阪YMCAインターナショナルスクール）一も過去最高の生徒・学生数を確保してきており、予算を超える収入を確保することができました。

② 支出の部

生徒数の増加に伴い支出も増額となりました。また、生徒数の増加に伴い教職員の数も増大してきており、人件費支出も大幅な増となっています。また大阪YMCA国際専門学校の床・壁の改修、学生用机／椅子の購入、大阪YMCA学院のトイレ改修、YMCA学院高等学校の教室の床・壁の改修と生徒・学生のための環境整備を行いました。

(2) 事業活動収支計算書

① 事業活動収入の部

高校生事業、留学生事業、国際・語学事業（大阪YMCA国際専門学校、大阪YMCA学院、大阪YMCAインターナショナルスクール）のほとんどが過去最高の生徒・学生数を確保してきており、予算を超える収入を確保することができました。

② 事業活動支出の部

生徒数の増加に伴い支出も増額となりました。また、生徒数の増加に伴い教職員の数も増大してきており、人件費支出も大幅な増となっています。また大阪YMCA国際専門学校の床・壁の改修、学生用机・椅子の購入、大阪YMCA学院のトイレ改修、YMCA学院高等学校の教室の床・壁の改修と生徒・学生のための環境整備を行いました。

(3) 貸借対照表

① 資産の部

流動資産は外壁工事の前払金 32,400,000 円が増額となりました。

② 負債の部

流動負債は次年度授業料等の前受金 40,133,398 円が増額となりました。

③ 基本金の部

基本金は 9,350,000 円繰り入れを行いました。

④ 事業活動収支差額の部

学院高等学校を除くすべての事業が順調で収入が大幅に増加し、当年度事業活動収支差額は 13,093,223 円となりました。

4 今後の課題

昨今の厳しい経済状況の中、私立学校を取り巻く経営環境は大きく変化しています。また教育界の急速の変化に対応すべく、教育内容をさらに充実させ、全ての学生・生徒にとって魅力的な学校作りが必要です。その中で、水都国際中学・高校の受託は学校事業全体の大きな起爆剤となると考えています。アクティブラーニングはYMCAが得意とし、すでに実施している事業もありますが、まだその水準に達していない学校もあります。

とりわけ学院高等学校は、再生に力をいれてきていますが、教育改革に沿う未来を見据えた再生はこれからになっています。

高校生事業にも多くの外国籍の生徒が入学してきており、学校法人全体で 800 名を超える児童・生徒・学生が全日制の学校に在籍しています。学校として多様化した児童・生徒・学生に対応できる仕組みを作ることが求められており、さまざまな場面で児童・生徒・学生を支援する取り組みのより一層の充実が求められています。

特に不登校や発達障がいのある児童・生徒の数は増えており、ますます合理的配慮を含めた対応が求められてきております。多様化している児童・生徒・学生に寄り添いながら、個々の目的と性格に基づいた丁寧な対応が必要となってきました。

監査報告書

2018年5月15日

学校法人 大阪YMCA

理事長 末岡 祥弘 殿

監事 萩原 義明

監事 文学 文男

監事 水口 美里

私たちは、学校法人大阪YMCAの2017年度（2017年4月1日より2018年3月31日まで）の財産の状況につき監査を行いました。

監査の結果、計算書類に記載された内容は、正確かつ妥当なものであり、また、理事の業務執行は法令および寄付行為に従って、誠実に行われているものと認めます。

以上